

平成25年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	大学教員養成課程における小学校社会科学習のテキスト開発と授業実践
------	----------------------------------

研究代表者

氏名 大石 学	所属 人文社会科学系人文科学講座	職名 教授
------------	---------------------	----------

研究分担者

氏名 上野 和彦	所属 人文社会科学系人文科学講座	職名 特任教授
椿 真智子	同上	教授
澤田 康德	同上	講師
牛垣 雄矢	同上	講師
田中 比呂志	同上	教授
赤間 祐介	人文社会科学系社会科学講座	講師
栗原 裕次	人文社会科学系人文科学講座	教授

【研究成果の概要】

本学初等教育教員養成課程における必修「教科に関する科目」『社会科研究』は、社会選修・専攻以外の学生が将来小学校教員として社会科授業を行う際に習得しておくべき社会科の基礎・基本と技能の養成を目的としている。22～24年度「重点研究」では、「小学校社会科学習プログラムと教材モデルの開発」をテーマに、本科目の学習課題・内容と各専門領域（歴史学・地理学・哲学・法学政治学・経済学）の基礎概念・視点・方法ならびに学習すべき内容との関係について検討を行い、地理的分野に関しテキスト構成を示した。現行教科書や学習指導要領に関する教科専門の立場からの課題検討も行き、学習内容に関する議論を深めた。これら成果をふまえ本年度は、当科目にふさわしいテキスト開発にむけ活動を継続した。主な作業および成果は下記のとおりである。

1. 第1回研究会において、メンバーが実践する当該授業の課題・内容と教材に関する報告を行い、議論ならびに情報共有を行った。
2. 「社会科研究」テキストの分野別構成ならびに専門的立場からの諸課題を検討した。
3. 分野ごとにテキスト内容の検討をすすめ、第2・3・4回研究会を開催して、テキスト（試行版）の構成・内容について検討した。
4. 第5回研究会を開催し、テキスト（試行版）全体目次と構成を確定し、2月末までに各自が執筆を行った。
5. テキストの特徴および概要は以下のとおり。

小学校社会科を構成する人文・社会科学の諸分野（地理学、歴史学、政治学、哲学）の研究者が共同して「社会科」の本質に迫ることをねらいとした。まず「教育基本法」前文に記された民主的・文化的な日本国家の発展と、世界平和と人類の福祉向上に貢献し、郷土・国家・他国・国際社会を視野に入れた平和と発展に、社会科の立場から寄与することを共通認識とした。さらに『学習指導要領』（H20年告示）に提示された社会科の最終目標を、平和で民主的な国家、社会、国際社会の形成者として必要な知識と資質を備えた「日本市民・地球市民」の育成ととらえなおした。同時にグローバル化とともに大きく変化する生活や生産様式、公共性の概念、世界における地域・民族紛争や地球規模の資源・環境問題の深刻化など、多様化・複雑化する諸課題とその背後にある地域や社会、世界のしくみ・構造について、それぞれの専門分野の視点からアプローチした。

年度末に発行したテキスト『小学校社会を教えるための本』は、H26年度「社会科研究」において試行的に使用し、各授業実践をふまえて改良・改善を加える予定である。

研究成果発表方法

[発表論文名(口頭発表を含む)、氏名、学会誌等名(投稿中・投稿予定・執筆中)を記入する。]

※本経費を用いて、報告書(冊子等)を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

本学初等教員養成課程における「教科に関する科目」に相当する「社会科研究」においてテキストとして使用する『小学校社会を教える本』を平成26年度末に発行予定。